

ecoた3うくんがLINE@ & Facebookはじめました!
「友だち」になると、展示会・記念セミナーのお得な情報もいち早くお届け!!



ID: @eco-tarokun



https://www.facebook.com/nippo.biz/



NEW環境ECOキャラ

独自の高速せん断溶解技術で

多層フィルムを再生利用

パレットや園芸用資材に



原料となる多層フィルムの粉砕物

物の多層フィルムを再生利用する考え。表谷社長は、用途がある再生ペレット「多層フィルム」を構成に加工する技術開発する。それぞれの樹脂の特性を生かした新たな中。パレットや園芸用リサイクル製品をつくる資材向けに製品化する」と述べている。

出機を中心とした独自の「高速せん断溶解技術」によるリサイクル(PE)やポリプロピレン(PA)やPETのフィルムを貼り合わせた構造。MSCは、中国の機械メーカーに技術指導を行い、コストパフォーマンスが高い2軸



多層フィルムを原料にした堅牢なパレット

MSCは、中国の機械メーカーに技術指導を行い、コストパフォーマンスが高い2軸

造になった。押出機などを製作している。食品も、日本国内で独自の高速せん断溶解を施して、さまざまな再生利用困難プラスチックを再生利用する事業に取り組みできた。

MSCは、中国の機械メーカーに技術指導を行い、コストパフォーマンスが高い2軸

MSCは、中国の機械メーカーに技術指導を行い、コストパフォーマンスが高い2軸

パレット製造販売や木くずのリサイクル事業で実績を持つ山室木材工業(滋賀県米原市、下村和幸社長、0749・57・0101)は、1月30日、「リサイクルセンター本社工場」の竣工式を開いた。産業廃棄物由来の木くずなどを受け入れる

施設で、処理能力は1時間当たり18・6ト、日量最大146トまで処理できる。6月から営業運転を始め、主に燃料用チップを生産する。隣接するグループ会社の木質バイオマス発電所だけでなく、他社への供給も行う。

新施設に導入した破碎機は、三替エンジンで、処理能力は日量188ト(21時間稼働)に上る。今後、本社工場での燃料チップを、発電所

は、合体制で燃料・製紙など各種木質チップを生産していく。本社工場から1キロ離れた位置に「リサイクルセンター第2工場」(1981年に建設があり、産廃・一廃由来の木くずを処理。日量240ト)まで対応する。第2工場で生産した燃料チップを、発電所

まで1日10回程度運ぶ費用など問題となっていたが、新施設の竣工

た。(関連記事5面)

従来の粉砕機は、処理量約1・3倍に別した後、PETボトルとガラスびんを選別して、異物の二次除去を行う。その後、処理

新たに導入したラベル剥離機

環境省は、8月8日、一省CO2型リサイクル等高度化設備導入促進事業の一の執行団体に採択した(公財)廃棄物・3R研究財団を通じて、2018年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の公募を開始した。使用済み製品などのリサイクルプロセス全体のエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制と資源循環を同時に推進することを目的とし、高度化設備導入費用の2分の1を上限に補助する。

環境省は、8月8日、一省CO2型リサイクル等高度化設備導入促進事業の一の執行団体に採択した(公財)廃棄物・3R研究財団を通じて、2018年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の公募を開始した。使用済み製品などのリサイクルプロセス全体のエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制と資源循環を同時に推進することを目的とし、高度化設備導入費用の2分の1を上限に補助する。

低濃度 PCB 廃棄物処理
OHNO オオノ開発株式会社
0120-504-177

ゴミからエネルギーへ。
待望のプラスチックリサイクルを実現!
ecoks
株式会社イーコクス
TEL.03-3617-8996
http://ecoks.jp

素化・修復受動抑野での「パリ協定」締結、資源循環分の「サーキュラー・エコノミー(Circular Economy)」の推進など。世界的な枠が打ち出されてお一般企業でも、本通して環境への好を生ま出すことをV(共通価値の創造)として取り組む事増えた。そういっしい概念の登場もれまで培われてき一つの環境技術理の実績があつてであり、足元で着働いてきた事業者インプレヤーでことに変わりはない。出展62社による演を、ぜひ会場